

社会背景・環境，今後の見通し及び重点課題について

- ・ 教育・学習・文化の分野において重視すべき社会背景や環境，今後の見通し等を検討するため，環境分析（「SWOT〔強み・弱み・機会（追い風）・脅威（向かい風）〕分析」）を実施した。
- ・ これを踏まえて，分野における重点課題を検討した。

1 生涯学習に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 「人間力」や「家庭・地域の教育力」の向上が重要視されている中，家庭と地域教育力向上に資する社会教育施策が十分でない。

【重点課題】

家庭・学校・地域・企業の連携強化，子どもの体験活動の充実などにより，家庭や地域の教育力の向上を図り，地域総ぐるみで子どもを育成すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 青少年の育成活動を重要だと感じる市民や，身に付けた知識や技術を生かして教えたいという市民が多い中，指導者やコーディネートする人材の育成や団体活動の連携・支援方策が十分でない。

【重点課題】

学習成果活用の機会や場の充実などにより，学習成果のまちづくりへの活用を促進し，地域の人材をまちづくりに生かすこと

〔環境分析3〕（主なもの）

- 市民の暮らし方の多様化や団塊世代の大量退職，さらには，高齢化の進行などにより，生涯学習へのニーズが増大する中，本市では，高等教育機関をはじめ民間学習機関などが多いほか，生涯学習活動の拠点が整備されている。

【重点課題】

学習施設や学習プログラムの充実，子どもの読書活動の充実，大学や民間学習機関との連携強化などにより，生涯学習活動への支援の充実を図り，いつでもどこでも自分にあった学習活動ができるようにすること

2 学校教育に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 確かな学力の育成に関する指導の方向性が示されている中、本市では、学力に関する各種調査を実施し、調査結果に基づく指導の工夫・改善や指導資料の作成などが行われている。
- 児童生徒の学力低下や家庭の教育力の低下が懸念されている中、本市においても、基礎学力や学習意欲、学習習慣が十分身に付いていない児童生徒が見られる。

【重点課題】

分かる授業の展開と実態把握に基づく学習指導の工夫・改善などにより、学力の向上を図り、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 豊かな心や社会性を高め、たくましい心身を育てる指導の充実が求められている中、本市では、読書活動や体験活動の充実、食育の推進などが行われている。
- ルールやマナーの欠如、健康や体力への意識の低下が懸念されている中、本市においても、豊かな心や規範意識、健康や体力への意識が十分に身に付いていない児童生徒が見られる。

【重点課題】

道徳や体験活動、食や健康・体力についての指導の充実などにより、豊かな人間性と健やかな体の育成を図り、心身ともにたくましい児童生徒を育成すること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 地方分権が進められ、学校の自主性・自律性の確立が求められている中、本市では、学校の裁量権を拡大し、教育活動の充実や予算の効果的な活用を図っている。
- 知識や特技を生かして学校に協力したいという保護者や地域住民が増えている中、本市では、学校・家庭・地域との連携体制が強化されてきている。
- 教育に無関心であったり、子どもの教育で悩んでいたりする保護者が増えている中、本市においても、児童生徒の健全育成のため、開かれた学校づくりや特色ある学校づくりの一層の推進が求められている。

【重点課題】

保護者や地域住民、企業等の学校教育への参画、学校の裁量権の拡大、新たな教育のシステムの整備などにより、地域と連携した独自性のある学校運営の推進を図り、信頼され、魅力のある学校づくりを行うこと

〔環境分析4〕（主なもの）

- 三位一体の改革に伴う補助金の廃止・削減が進められている中，児童生徒の多様な教育活動に対応できる教室の確保や施設・設備の整備が十分とは言えない。
- 学校の自主性・自律性の確立が求められている中，校舎の安全やバリアフリー，情報化への対応が進むとともに，地方分権により，学校や市町村への権限移譲が進み，学校や市独自の取組が展開できるようになった。

【重点課題】

学校施設の整備などにより，教育環境の充実を図り，児童生徒の安全で快適な学習環境を確保すること

〔環境分析5〕（主なもの）

- 発達障害者支援法の施行や中央教育審議会答申により，発達障害に対する行政としての対応が求められている中，本市では，専門性の高い人材の不足など，学校からの要望に応えられない場合がある。
- 教育センターには相談室，適応支援教室が整備されるとともに，高い専門性を有する人材が学校に派遣されている中，本市では，発達障害など，新たな障害への理解が十分とはいえない状況にある。

【重点課題】

支援体制や相談機能の充実などにより，特別支援教育の充実を図り，特別な支援を必要とする児童生徒への適切な教育を展開すること

〔環境分析6〕（主なもの）

- 職員の人事権の中核市への移譲が検討されているとともに，教員の指導力の向上が求められている中で，教員による指導力の差や，校内におけるOJTが十分機能していない状況が見られる。
- 教育センターには研修室，情報教育室が確保されるとともに，研究紀要，各種教材などがデータベース化されている中で，家庭の教育力低下により，学校に求められる役割が広がる一方で，教員養成システムが十分に機能しているとはいえない状況となっている。

【重点課題】

研修の充実，教員同士の相互研鑽，ITを活用した教育情報の共有化などにより，教職員の資質・専門性の向上を図り，情熱をもち信頼される教職員を育成すること

〔環境分析7〕（主なもの）

- 教育基本法や学校教育法などに幼児教育の重要性が位置付けられ、自治体による幼児教育の振興が求められる中、本市において、幼児教育に関する施策を総合的・体系的に推進するための計画や私立幼稚園への教育上の助言・相談受付を行う組織がない。
- 少子化、核家族化等に伴い、家庭や地域の教育力が低下し、子ども同士の切磋琢磨の機会や親以外の大人との接触機会が減少している中、幼児教育の中心となる私立幼稚園において、地域の幼児教育機能の充実が求められている。

【 重点課題 】

幼児教育環境整備、家庭・地域・学校・幼稚園等の連携強化などにより、幼児教育の充実を図り、幼児の生涯にわたる人間形成の基礎を培うこと

〔環境分析8〕（主なもの）

- 学習意欲が高い団塊の世代等の退職者が増加しているが、本市では、就職につながるリカレント教育に対応したカリキュラムを設置する高等教育機関との連携が少ない。
- 職業観や勤労観が希薄な青年（フリーターやニート）の増加が問題となり、労働人口の減少が進む中、本市では、就職につながるリカレント教育に対応したカリキュラムを設置する高等教育機関との連携が少ない。
- 自宅外の大学生の生活費（学費含む）において、家庭からの仕送りへの依存が減り、奨学金の占める割合が増えている中、奨学金の予算規模・採用人数が中核市でトップである。

【 重点課題 】

高校、大学等教育機関との連携強化、新たな教育機関の誘致、育英奨学金制度の充実などにより、高度で専門的な学習機会の充実を図り、市民の自己実現を可能とする教育環境をつくること

3 文化振興に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 文化活動を行いたいという市民が多く、文化活動への関心が高い中、身近に文化芸術活動を行うための場所や機会等の環境整備が不十分である。さらには、練習施設や展示機能が公共施設に不足している。
- ジャズ、妖精、大谷石の景観など、本市独自の個性ある文化資源が充実している中、文化施設の利用案内、各種団体の活動状況等に関する情報発信が不足している。

【重点課題】

機会の充実、施設の整備などにより、文化活動環境の充実を図り、市民の自主的な文化活動を促進すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 本市には多くの文化遺産が所在し、文化財保存活動団体・文化財ボランティア協議会が保存・伝承しているが、構成員の高齢化や後継者が不足している。
- コミュニティの希薄化により、地域における文化継承の受け皿としての機能の低下が懸念されているが、一方で、養成講座を経た文化財ボランティアが増加しているなど、文化財に対する市民意識の高まりも見られる。

【重点課題】

史跡等の整備、伝統文化、後継者の育成などにより、文化的資源の掘り起こし、保存、継承を図り、本市文化の特色を高めること

4 スポーツ振興に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- だれもがいつでも気軽に楽しめるスポーツの普及が望まれている中、住民主体の地域スポーツクラブの設立件数が少ない。
- 身近な場所でのスポーツ活動を望む市民やスポーツに費用をかける市民が増えている中、公共のスポーツ施設が老朽化している。
- インターネットの普及で情報受信が容易になっているが、スポーツ関連情報やスポーツ施設予約システムなど、情報提供サービスが不足している。

【重点課題】

スポーツ活動の推進，参加機会の拡大，場や施設の提供などスポーツ活動環境の充実を図り，自分にあったスポーツに親しめるようにすること

〔環境分析2〕（主なもの）

- だれもがいつでも気軽に楽しめるスポーツの普及が望まれる中、指導者の高齢化が進んでいるほか、量的にも不足している。
- 市民のスポーツ活動の促進が求められる中、スポーツ活動を支える人材の不足や団体の活動の硬直化が問題となっている。
- 市民のスポーツへの期待や関心が高まっている中、参加型・観戦型イベントを毎年開催し、年々参加者が増加している。

【重点課題】

指導者の育成，団体の活動支援などにより，人材の育成・確保や団体の活性化を図り市民スポーツ活動を支援すること

5 青少年の育成に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 地域・家庭の教育力の向上が重要視されている中、本市では、青少年育成に関する全市的な連携の仕組みづくりが十分ではない。
- 人口減少による労働力人口の減少が懸念される中、本県の若年無業者の数は全国で上位であるなど、青少年の社会的自立が課題となっている。

【重点課題】

家庭や地域、関係機関等の連携強化や自分探しの青少年活動の促進などにより、社会的自立の促進を図り、青少年の社会力を高めること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 薬物乱用、インターネットの有害情報へのアクセスなど、青少年に悪影響を及ぼす新たな課題が現れる中、青少年個々の問題行動や急激な環境の変化に対し、地域において、それらを防止する体制が十分に整備されていない。

【重点課題】

地域をはじめとした薬物防止・ネット犯罪防止活動、環境浄化活動などにより、非行・問題行動を未然に防止し、青少年を非行や犯罪などから守ること